

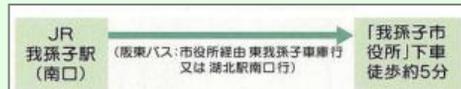
# どうする？手賀沼の外来植物

## ～ 手賀沼生き物調査報告会

2015年3月13日（金）13時30分～16時

- 場所：千葉県手賀沼親水広場 3F研修室
- 講師：人間環境大学 藤井伸二 准教授  
千葉県立中央博物館 林紀男 主任上席研究員
- 定員：120名（当日先着順）
- 対象：どなたでも
- 参加費：無料
- 主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会
- 問合せ：八鍬 TEL 090-5217-6699

メール [teganumforum@yahoo.co.jp](mailto:teganumforum@yahoo.co.jp)



手賀沼では、ハスが拡大し続け、ナガエツルノゲイトウなどの特定外来生物も爆発的に増え、もともと生息してきた生き物に大きな影響を与えています。手賀沼流域フォーラム実行委員会では2012年から手賀沼の生き物調査を実施しています。市民団体による駆除も始まりました。

手賀沼の現状を知り、これからをともに考えましょう。



# 手賀沼生き物調査

手賀沼の**ハス**群落が増え続け、沿岸のヒメガマ・マコモなどが侵略されています。手賀沼流域フォーラム実行委員会では、ハスの拡大を阻止するために、千葉県立中央博物館 林紀男主任上席研究員と共同で、ハスの刈り取り実験を2014年6月と7月に行いました。現在、効果を検証中です。



6月



7月

また、特定外来生物の**ナガエツルノゲイトウ**が、手賀沼や流域の河川、用水路、田んぼにも爆発的に繁茂してきています。美しい手賀沼を愛する市民の連合会では、千葉県河川海岸アダプトプログラムに申請し、2014年3月手賀沼公園脇の群落を遮光シートで被い枯死させる方法を、柏土木事務所と協働で実施しました。



ナガエツルノゲイトウ繁茂  
(2013年8月29日撮影)



冬期枯れているが、根は生きている (2014年3月16日撮影)



遮光シートを設置 (2014年3月23日撮影)

## 【ナガエツルノゲイトウ】



南アメリカ原産。水辺の湿った環境に生える多年草でちぎれた葉っぱや茎からも増えます。



駆除の困難なナガエツルノゲイトウに、遮光シートは大きな抑制効果がありましたが上に載せた土嚢の隙間からはみ出て成長しているところもあり、除去作業を行いました。(2014年11月27日撮影)引き続き対策をとりながら、観察して行きます。

## 手賀沼流域フォーラム実行委員会

「手賀沼流域フォーラム」は、市民活動団体や手賀沼流域の7市、手賀沼水環境保全協議会の実行委員が運営しています。流域の各地で、さまざまな企画を通して手賀沼の魅力や環境保全などについて広く伝えるとともに、手賀沼の生物多様性の状況について調査を行っています。

柏地域実行委員会・我孫子地域実行委員会・流山地域委員・松戸地域実行委員会・鎌ヶ谷地域実行委員  
白井地域実行委員・印西地域実行委員会・手賀沼水環境保全協議会事務局(千葉県環境生活部水質保全課)  
柏市・我孫子市・流山市・松戸市・鎌ヶ谷市・白井市・印西市・千葉県手賀沼親水広場指定管理者(協力)  
公益財団法人山階鳥類研究所(後援) ●事務局 美しい手賀沼を愛する市民の連合会

メール [teganumaforum@yahoo.co.jp](mailto:teganumaforum@yahoo.co.jp)

ホームページ <http://www.teganumaforum.com>